

# 沖縄地方の天候

2018年2月と冬（2017年12月～2018年2月）

平成30年3月1日 沖縄気象台

## 【 2月 】

天候経過（月のまとめ） . . . . . 1

天候経過（旬別） . . . . . 2

大気の流れ（北半球の天気図の概要） . . . . . 3

日々の天気図（午前9時）・気象概況 . . . . . 4

### 地上気象 気象経過図

那覇・名護・久米島・南大東（南大東島） . . . . . 6

宮古島・石垣島・西表島・与那国島 . . . . . 7

アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）

分布図 . . . . . 8

極値・順位値更新表（月）、生物季節観測表 . . . . . 9

## 【 冬 】

冬の天候 . . . . . 10

冬の大気の流れ（北半球の天気図の概要） . . . . . 11

沖縄地方の冬（12月～2月）

の平均気温と降水量の経年変化 . . . . . 12

本件担当：沖縄気象台 地球環境・海洋課  
お問い合わせ先：098-918-4012

## 天 候 経 過 (月のまとめ)

### 【2月】

前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れの日もあった。

平均気温は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年差は-0.6℃と低かった。降水量は全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を下回り、地域平均平年比は51%と少なかった。下地、鏡原、仲筋では月降水量の少ない方からの2月としての極値を更新した。日照時間の地域平均平年比は92%と平年並だった。

**平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級**

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	16.9	-0.2	0	84.0	70	0	97.9	112	0
名 護	16.2	-0.3	0	91.0	72	0	98.9	115	+
久米島	16.5	-0.5	0	63.0	44	-	93.9	121	+
南大東島	17.7	-0.1	0	60.0	64	0	113.1	99	0
宮古島	17.6	-0.7	-	58.0	41	-	76.7	93	0
石垣島	18.3	-0.8	-	43.5	31	-	68.7	84	0
西表島	17.9	-1.0	-	86.5	52	-	56.5	73	-
与那国島	17.8	-1.0	-	107.5	68	0	29.8	52	-
沖縄地方		-0.6	-		51	-		92	0

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。  
 ++:かなり高い(かなり多い)、+:高い(多い)、0:平年並、  
 -:低い(少ない)、--:かなり低い(かなり少ない)
2. 「降水量」欄の — は無降水を示す。
3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準正常値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

## 天 候 経 過 (旬別)

### 【2月上旬】

沖縄地方は前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

沖縄地方の平均気温はかなり低く、5日は県内の多くの地点で日最高気温の低い方からの2月としての極値を更新し、北原では、日最高気温の低い方からの通年の極値を更新した。沖縄地方の降水量は平年並で、日照時間はかなり少なかった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	14.7	-1.7	-	44.0	115	+	16.1	58	-
名 護	14.2	-1.5	-	57.0	165	+	19.4	70	0
久米島	14.3	-1.9	-	29.5	66	0	14.5	58	-
南大東島	16.4	-0.8	-	31.0	83	+	18.0	48	--
宮古島	15.2	-2.4	--	20.0	44	0	8.3	29	-
石垣島	15.4	-3.0	--	8.0	17	-	7.3	26	--
西表島	15.2	-3.0	--	36.0	66	0	5.4	21	--
与那国島	14.8	-3.3	--	42.5	93	0	1.8	10	--
沖縄地方		-2.5	--		67	0		36	--

### 【2月中旬】

沖縄地方は高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、期間の前半は大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で、期間の後半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあった。

沖縄地方の平均気温は平年並だったが、寒気や放射冷却の影響を受け、13日は北原で日最低気温の低い方からの2月としての極値を更新し、14日は下地で日最低気温の低い方からの通年の極値を更新した。沖縄地方の降水量は少なく、日照時間は多かった。

	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	17.3	-0.2	0	18.0	36	-	54.3	168	++
名 護	16.7	-0.2	0	7.0	12	--	57.9	176	++
久米島	17.1	-0.3	0	11.5	19	-	54.9	196	++
南大東島	17.7	-0.4	0	25.0	71	0	63.8	151	+
宮古島	18.4	-0.3	0	15.0	29	-	50.0	170	+
石垣島	19.5	+0.1	0	16.0	40	-	42.9	151	+
西表島	19.0	-0.3	0	17.0	31	-	36.2	133	+
与那国島	19.2	0.0	0	26.5	41	-	20.0	98	0
沖縄地方		-0.1	0		33	-		157	+

### 【2月下旬】

沖縄地方は前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れる日もあった。

沖縄地方の平均気温、降水量、日照時間は、ともに平年並だった。

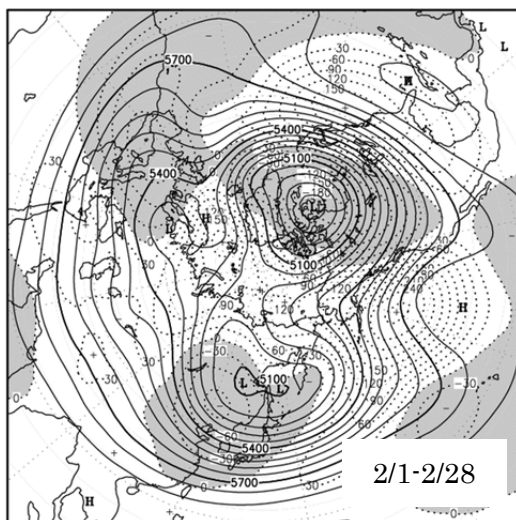
	平均気温 (°C)	平年差 (°C)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	19.0	+1.4	+	22.0	71	0	27.5	102	0
名 護	18.2	+1.2	+	27.0	85	0	21.6	83	0
久米島	18.7	+1.2	0	22.0	57	0	24.5	99	0
南大東島	19.5	+1.3	+	4.0	19	-	31.3	89	0
宮古島	19.7	+1.0	+	23.0	52	0	18.4	73	0
石垣島	20.5	+1.0	0	19.5	37	0	18.5	72	0
西表島	19.9	+0.6	0	33.5	59	0	14.9	61	0
与那国島	19.9	+0.8	0	38.5	80	0	8.0	43	-
沖縄地方		+1.1	0		59	0		78	0

表の(注)は、前頁と同様

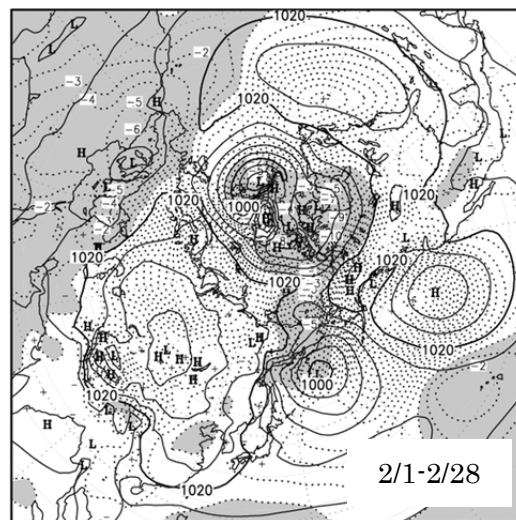
## 大気の流れ（北半球の天気図の概要）

2018年2月

500hPa面の平均高度（左図）は、華北を中心に日本付近の高度は平年より低かったが、沖縄付近は平年との隔たりは小さかった。平均海面気圧（右図）は、大陸で平年より気圧の高い領域が広がり、シベリア高気圧が強かった。このため寒気の影響を受けやすく、期間の前半の沖縄地方の平均気温は平年を下回った。また、沖縄付近は南からの湿った空気の影響を受けにくく、沖縄地方の降水量は平年を下回った。



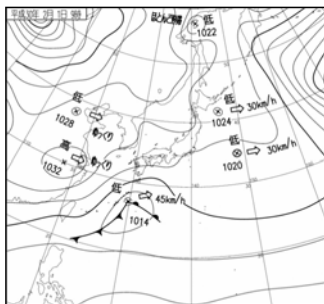
左図 北半球の500hPa面の平均高度  
等値線の間隔は実況（実線）が60m、  
平年差（破線）が30mである。  
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。



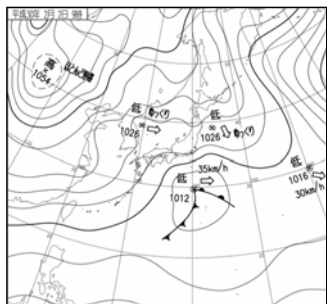
右図 北半球の平均海面気圧  
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、  
平年差（破線）が1hPaである。  
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

## 日々の天気図（午前9時）・気象概況

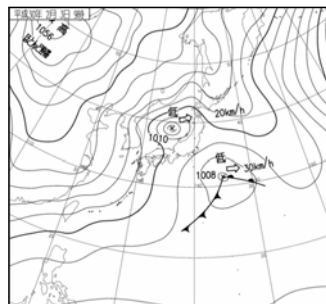
2018年2月1日～2月16日



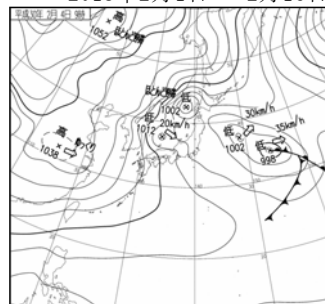
2018年2月1日  
前線や寒気の影響を受ける。



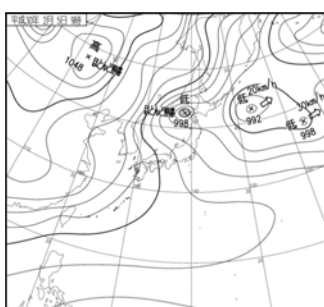
2月2日  
沖縄本島地方と先島諸島は寒気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



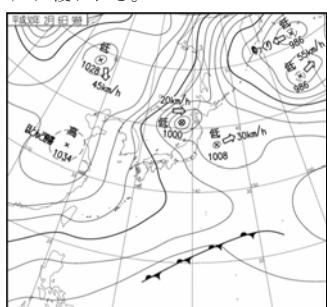
2月3日  
寒気の影響を受ける。



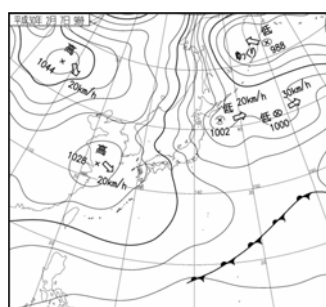
2月4日  
寒気の影響を受ける。



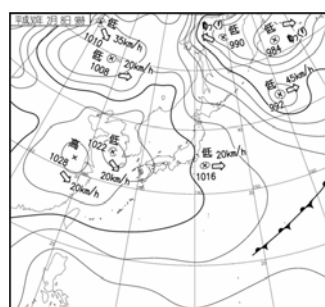
2月5日  
寒気の影響を受ける。



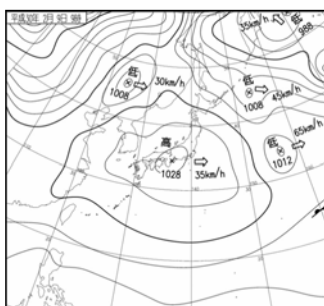
2月6日  
寒気の影響を受ける。



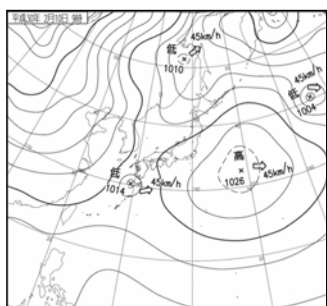
2月7日  
沖縄本島地方と先島諸島は寒気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



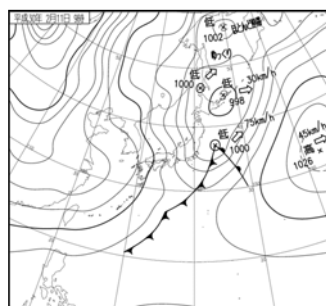
2月8日  
気圧の谷の影響を受ける。



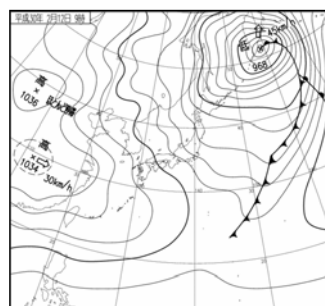
2月9日  
気圧の谷の影響を受ける。



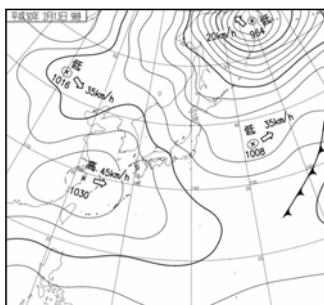
2月10日  
前線や気圧の谷の影響を受ける。



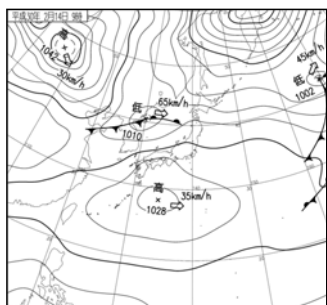
2月11日  
寒気の影響を受ける。



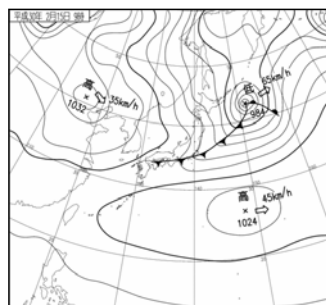
2月12日  
沖縄本島地方は寒気の影響を受ける。大東島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。



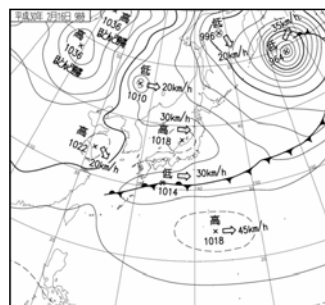
2月13日  
沖縄本島地方と先島諸島は高気圧に覆われる。大東島地方は寒気の影響を受ける。



2月14日  
高気圧に覆われる。



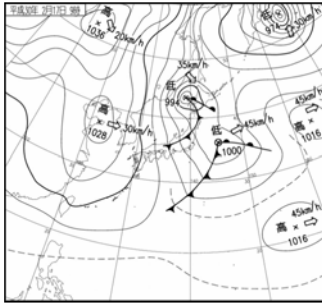
2月15日  
沖縄本島地方、大東島地方、宮古島地方は高気圧に覆われる。八重山地方は湿った空気の影響を受ける。



2月16日  
沖縄本島地方と先島諸島は前線や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。

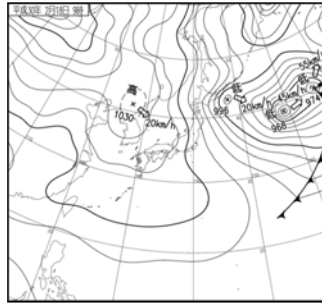
日々の天気図（午前9時）・気象概況

2018年2月17日～2月28日



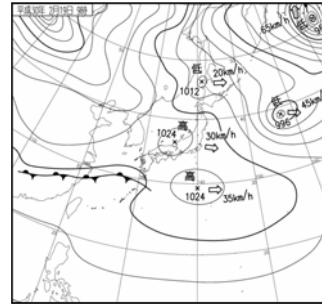
2月17日

沖縄本島地方は高気圧に覆われる。大東島地方は前線や湿った空気の影響を受ける。先島諸島は寒気の影響を受ける。



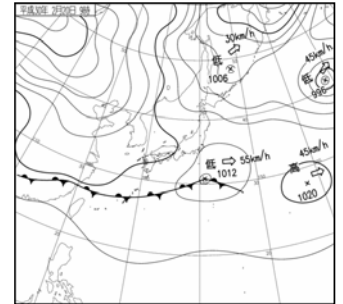
2月18日

高気圧に覆われる。



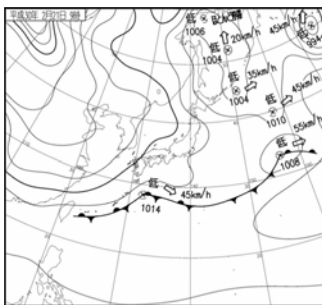
2月19日

高気圧に覆われる。



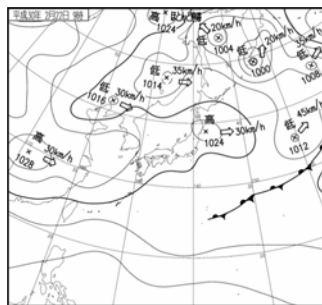
2月20日

沖縄本島地方と先島諸島は前線や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



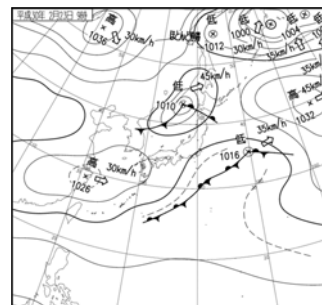
2月21日

前線や寒気の影響を受ける。



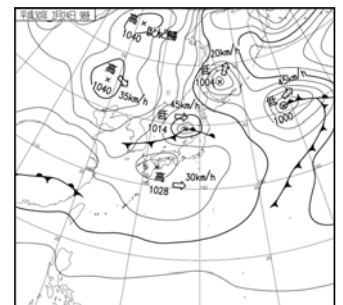
2月22日

気圧の谷や寒気の影響を受ける。



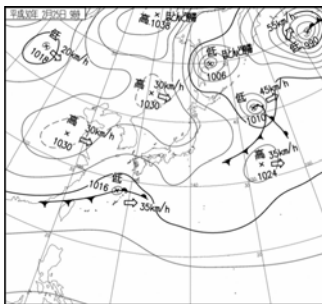
2月23日

気圧の谷や寒気の影響を受ける。



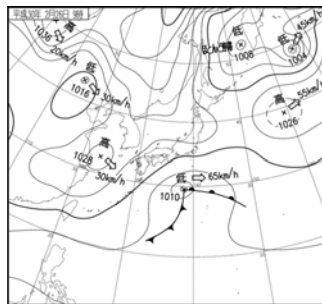
2月24日

気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。



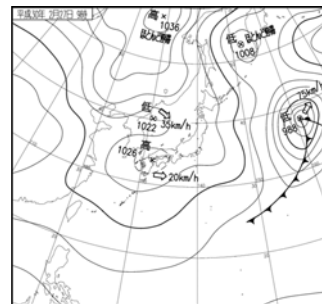
2月25日

前線や湿った空気の影響を受ける。



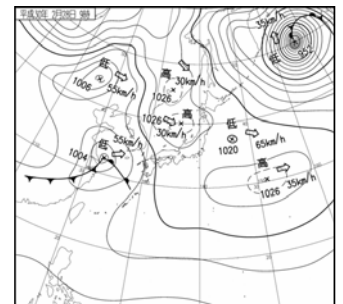
2月26日

沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は寒気の影響を受ける。



2月27日

高気圧に覆われる。

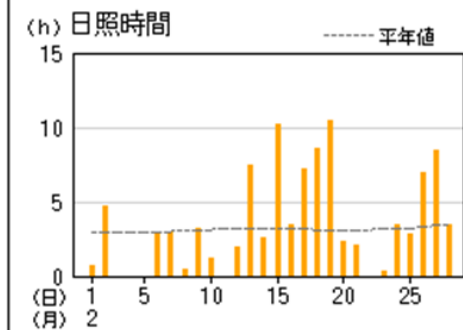
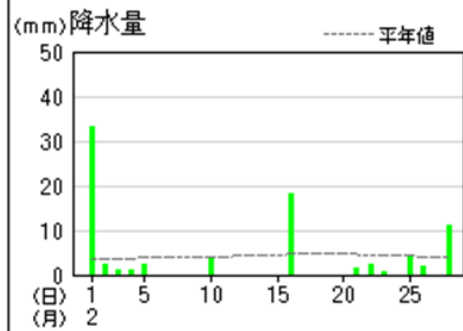
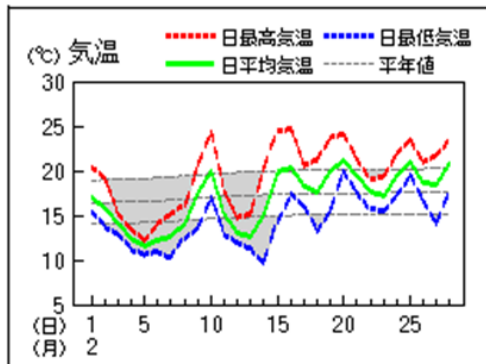


2月28日

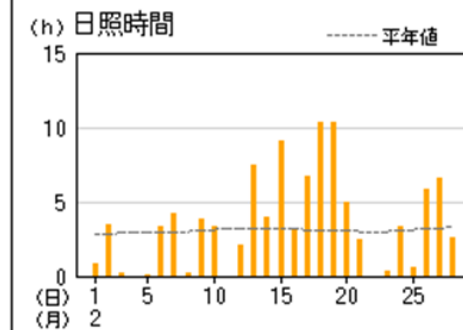
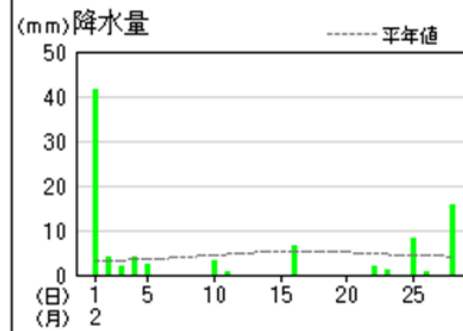
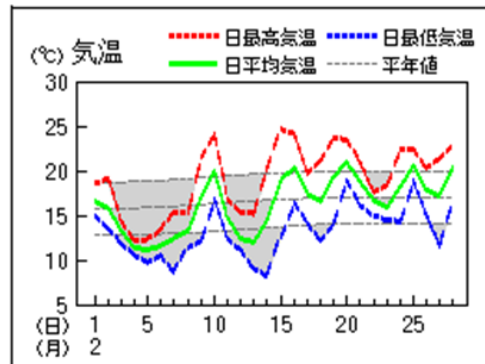
沖縄本島地方と先島諸島は前線や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。

地上気象 気象経過図：2018年02月01日-2018年02月28日

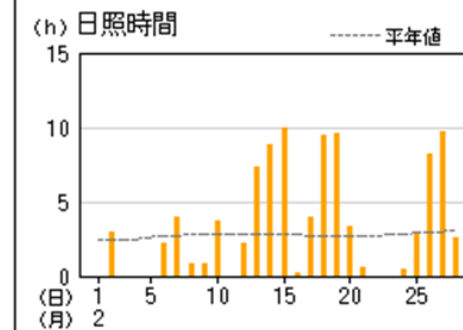
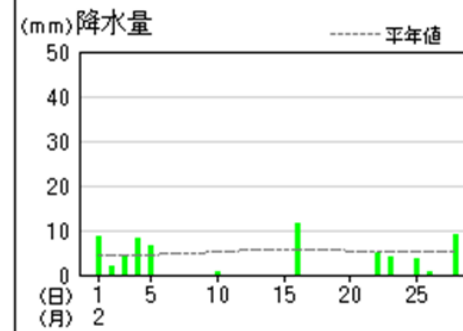
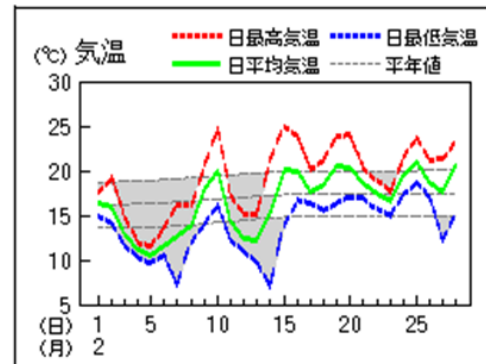
那覇



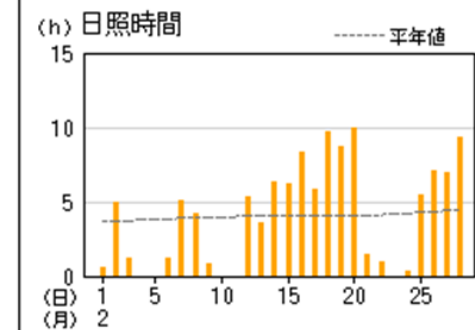
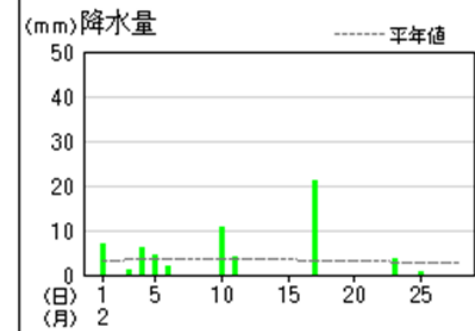
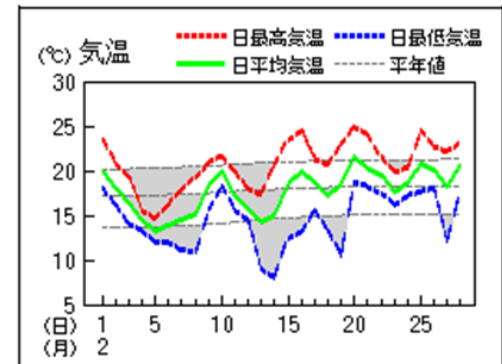
名護



久米島

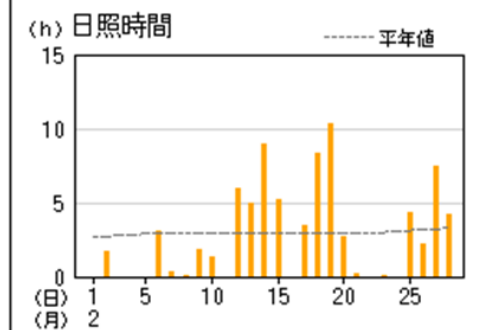
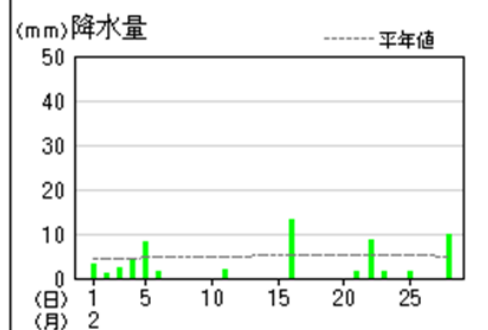
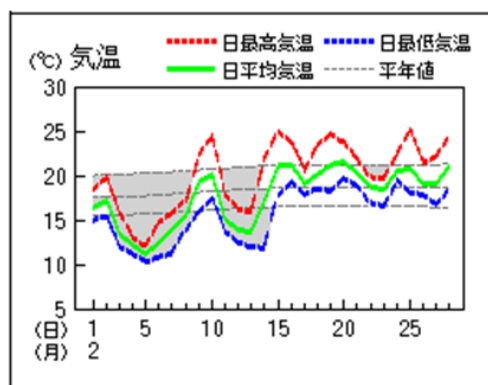


南大東 (南大東島)

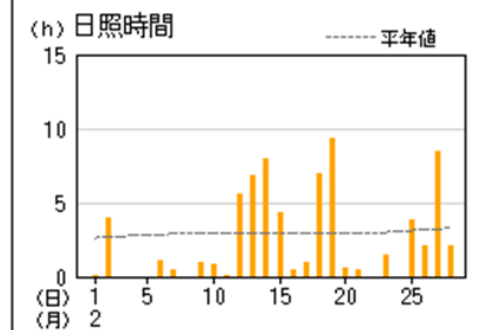
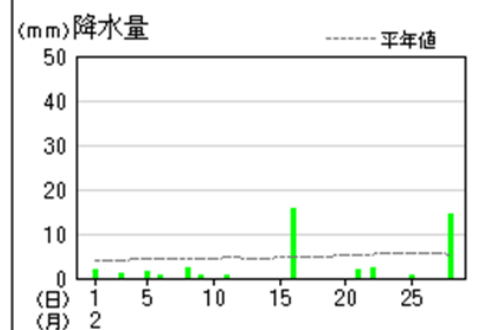
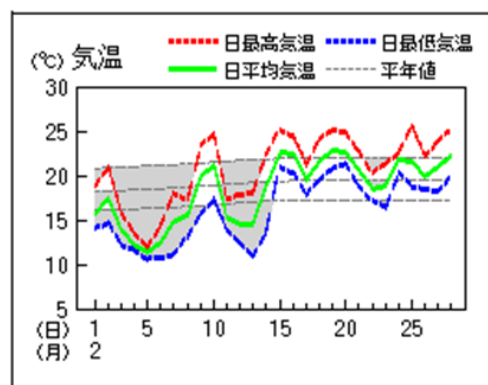


地上気象 気象経過図：2018年02月01日-2018年02月28日

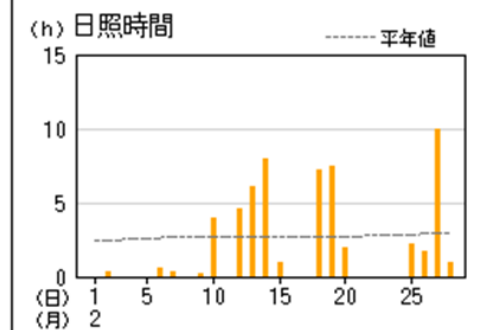
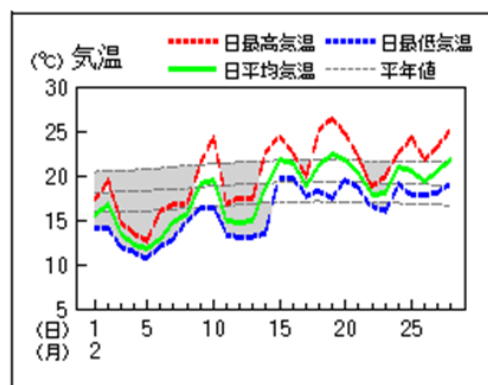
宮古島



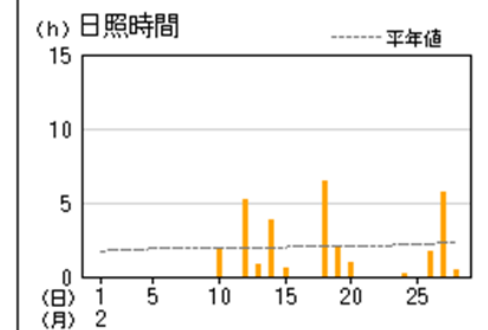
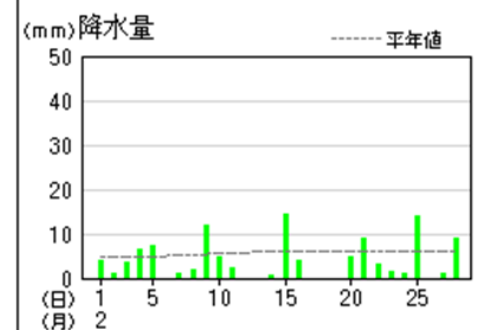
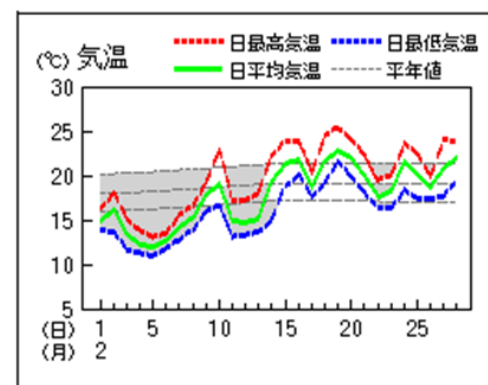
石垣島



西表島

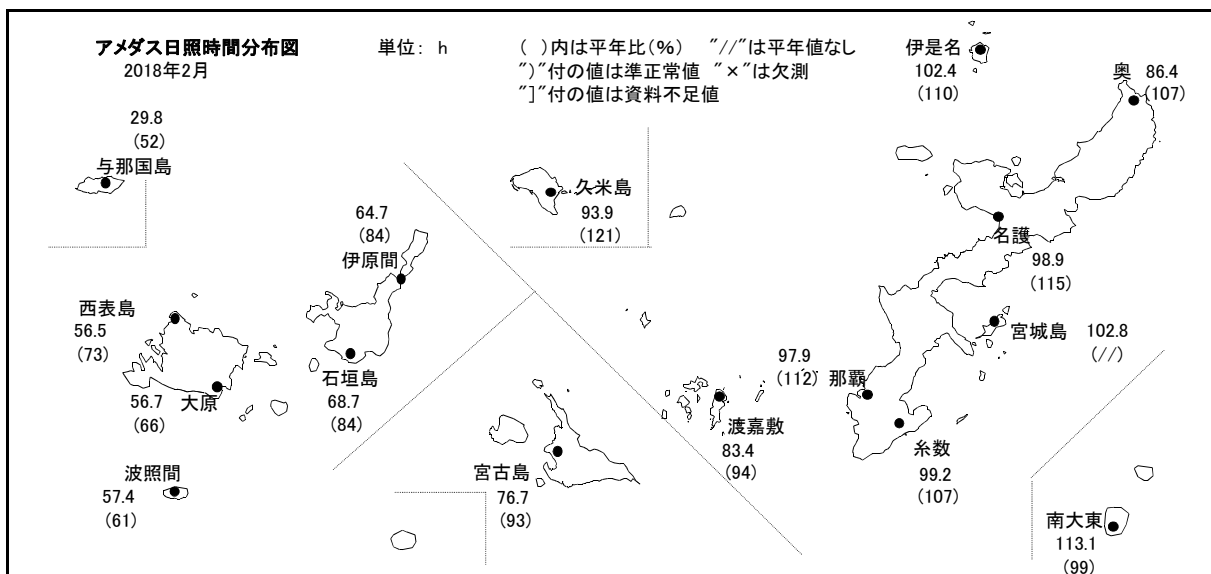
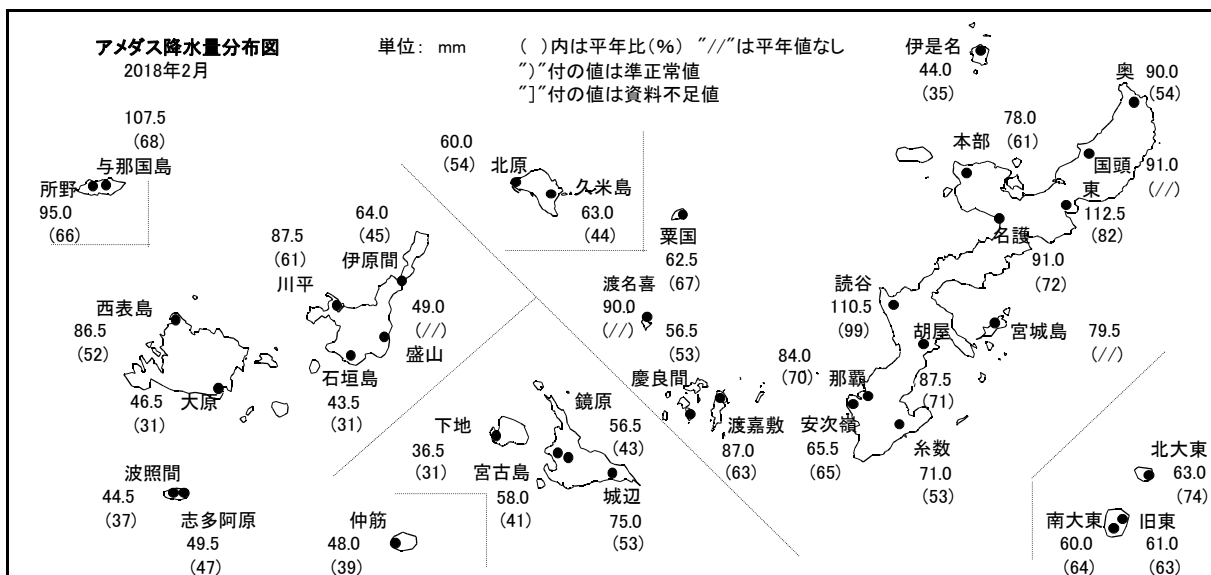
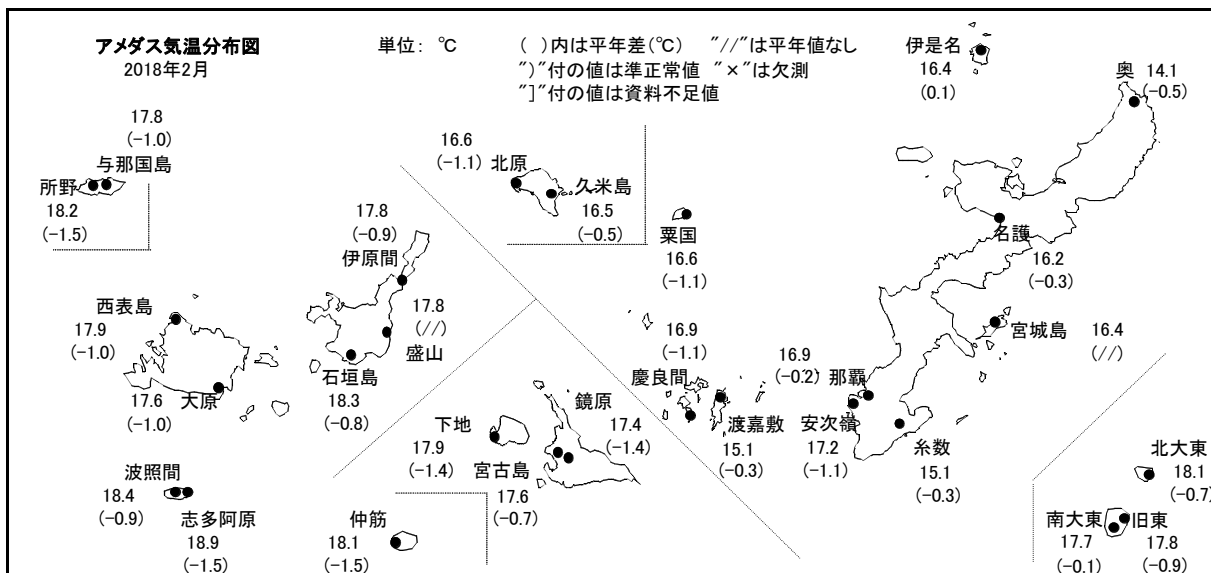


与那国島





アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



・ 統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。

## 極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2018年2月

日の統計値の1位及び月の統計値の3位までの順位値の更新はありません。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
栗国	日最大風向・風速（m/s）	北 16.5	2018年2月1日	1	北東 12.0	2008年2月6日
北原	日最大風向・風速（m/s）	北 17.6	2018年2月1日	1	北北東 16.9	2016年2月14日
慶良間	日最大風向・風速（m/s）	北 13.4	2018年2月1日	1	南 13.3	2012年2月23日
所野	日最大風向・風速（m/s）	北 18.6	2018年2月1日	1	北北東 15.7	2013年2月8日
北原	日最低気温の低い方から（℃）	8.6	2018年2月13日	1	9.5	2015年2月9日
下地	日最低気温の低い方から（℃）	6.8	2018年2月14日	1	7.7	2016年2月9日
栗国	日最高気温の低い方から（℃）	11.9	2018年2月5日	1	12.9	2012年2月18日
北原	日最高気温の低い方から（℃）	11.6	2018年2月5日	1	13.4	2012年2月18日
宮城島	日最高気温の低い方から（℃）	12.2	2018年2月5日	1	12.7	2012年2月18日
慶良間	日最高気温の低い方から（℃）	11.9	2018年2月5日	1	13.2*	2016年2月16日
安次嶺	日最高気温の低い方から（℃）	12.8	2018年2月5日	1	13.9*	2012年2月18日
北大東	日最高気温の低い方から（℃）	14.7	2018年2月5日	1	15.7	2015年2月9日
旧東	日最高気温の低い方から（℃）	14.5	2018年2月5日	1	15.5	2015年2月9日
下地	日最高気温の低い方から（℃）	12.8	2018年2月5日	1	14.4	2005年2月20日
鏡原	日最高気温の低い方から（℃）	11.9	2018年2月5日	1	13.6	2005年2月20日
仲筋	日最高気温の低い方から（℃）	12.4	2018年2月5日	1	14.1	2005年2月20日
志多阿原	日最高気温の低い方から（℃）	13.5	2018年2月5日	1	14.8	2015年2月9日
下地	月降水量の少ない方から（mm）	36.5	2018年2月	1	43.0	2013年2月
鏡原	月降水量の少ない方から（mm）	56.5	2018年2月	1	61.0	2013年2月
仲筋	月降水量の少ない方から（mm）	48.0	2018年2月	1	73.5	2009年2月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：\*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

## 生物季節観測表

2018年2月

観測場所	種別（代替種目）	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
（1）植物								
石垣島	サクラ（ヒカンザクラ）	満開	2月7日	2月5日	2月19日	+2	1月8日	3月2日
宮古島	サクラ（ヒカンザクラ）	満開	2月8日	2月9日	2月27日	-1	1月23日	3月2日
石垣島	ツツジ（タイワンヤマツツジ）	開花	2月9日	2月8日	なし	+1	1月4日	3月31日
（2）動物								
那覇	ツバメ	初見	2月15日	3月14日	2月13日	-27	2月4日	4月15日
那覇	ウグイス	初鳴	2月19日	2月22日	1月31日	-3	1月30日	3月21日
南大東島	ツバメ	初見	2月26日	3月19日	3月13日	-21	2月20日	4月14日

注：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。

# 冬の天候

2017年12月～2018年2月

## 天候経過

前線や気圧の谷、湿った空気、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。

期間を通して気温の変動が大きかったものの、強い寒気の影響を受けた時期が多く、平均気温は那覇、名護、久米島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島で平年を下回り、地域平均平年差は $-0.2^{\circ}\text{C}$ と低かった。降水量は那覇、名護、久米島、宮古島、西表島、与那国島で平年を下回り、地域平均平年比は85%と少なかった。日照時間は全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を下回り、地域平均平年比は83%と少なかった。

### 平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

【2017年12月～2018年2月】

	気温 ( $^{\circ}\text{C}$ )	平年差 ( $^{\circ}\text{C}$ )	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	17.4	-0.2	-	285.0	87	0	274.3	92	0
名護	16.7	-0.2	-	269.0	81	0	270.7	90	-
久米島	17.3	-0.1	0	299.0	74	-	238.2	93	0
南大東島	18.3	0.0	0	327.5	111	0	298.5	83	-
宮古島	18.4	-0.3	-	341.5	85	0	229.9	85	-
石垣島	19.0	-0.2	-	394.5	100	0	197.7	74	-
西表島	18.7	-0.2	-	409.0	83	-	184.3	82	-
与那国島	18.6	-0.4	-	440.0	81	-	124.3	70	-
沖縄地方		-0.2	-		85	-		83	-

(注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。

++:かなり高い(多い)、+:高い(多い)、0:平年並、-:低い(少ない)、--:かなり低い(少ない)

2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。

3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。

4. “)”付きの値は準完全値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。

5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。

6. “X”は欠測を意味する。

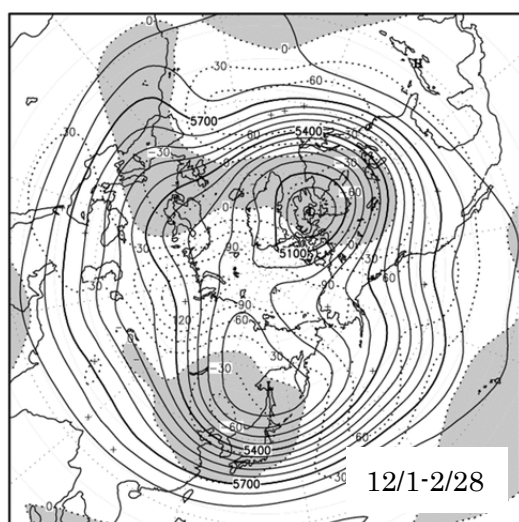
7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。

8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

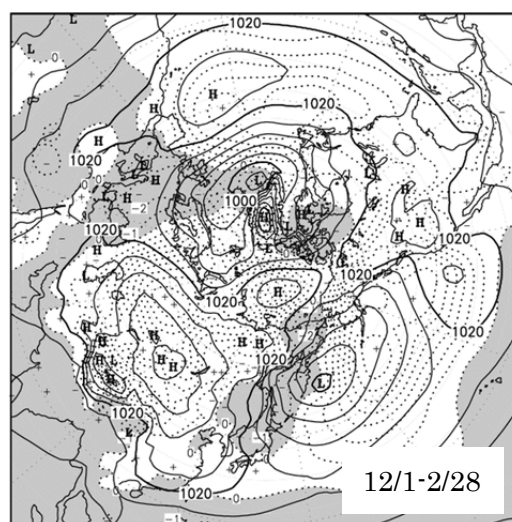
## 冬の大気の流れ（北半球の天気図の概要）

2017年12月～2018年2月

500hPa面の平均高度（左図）は、日本付近で平年より高度が低く、日本の南で高度が高くなっており、沖縄地方はその境目付近だった。ラニーニャ現象に伴いインドシナ半島からフィリピン付近で対流活動が活発になった影響で、日本の南において帯状に高度が高くなったと考えられる。平均海面気圧（右図）は、大陸では平年より気圧の高い領域が広がり、シベリア高気圧が強かった。このため、沖縄地方は寒気の影響を受けた時期が多かった。



左図 北半球の500hPa面の平均高度  
等値線の間隔は実況（実線）が60m、  
平年差（破線）が30mである。  
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。



右図 北半球の平均海面気圧  
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、  
平年差（破線）が1hPaである。  
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

## 沖縄地方の冬（12月～2月）の平均気温と降水量の経年変化

沖縄地方の2017/18年冬（2017年12月～2018年2月）の平均気温の地域平均平年差は $-0.24^{\circ}\text{C}$ であった。1898年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年間に $0.88^{\circ}\text{C}$ の割合で上昇している（図1）。

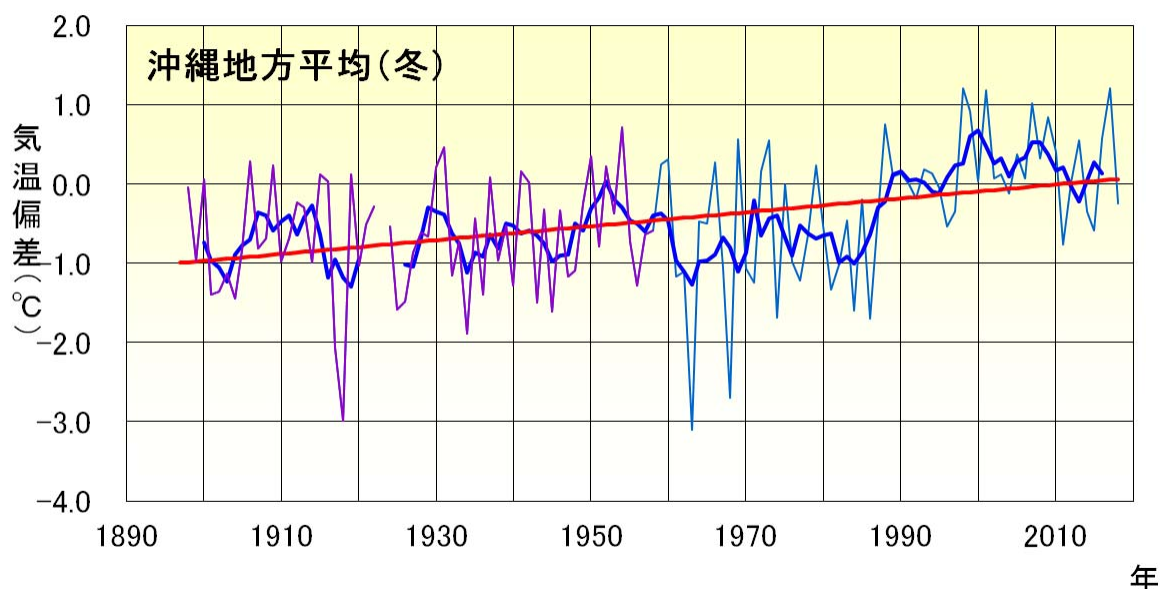


図1 沖縄地方の冬（12月～2月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化  
[1898～2018年の121年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差 [ $^{\circ}\text{C}$ ] を示す。  
水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。  
那覇の1927年4月以前は、移転の影響を補正したデータを用いている。  
1923年は那覇観測値欠測。

沖縄地方の 2017/18 年冬（2017 年 12 月～2018 年 2 月）の降水量の地域平均平年差は -62.7mm であった。1897 年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100 年間に 59.8mm の割合で減少している（図 2）。

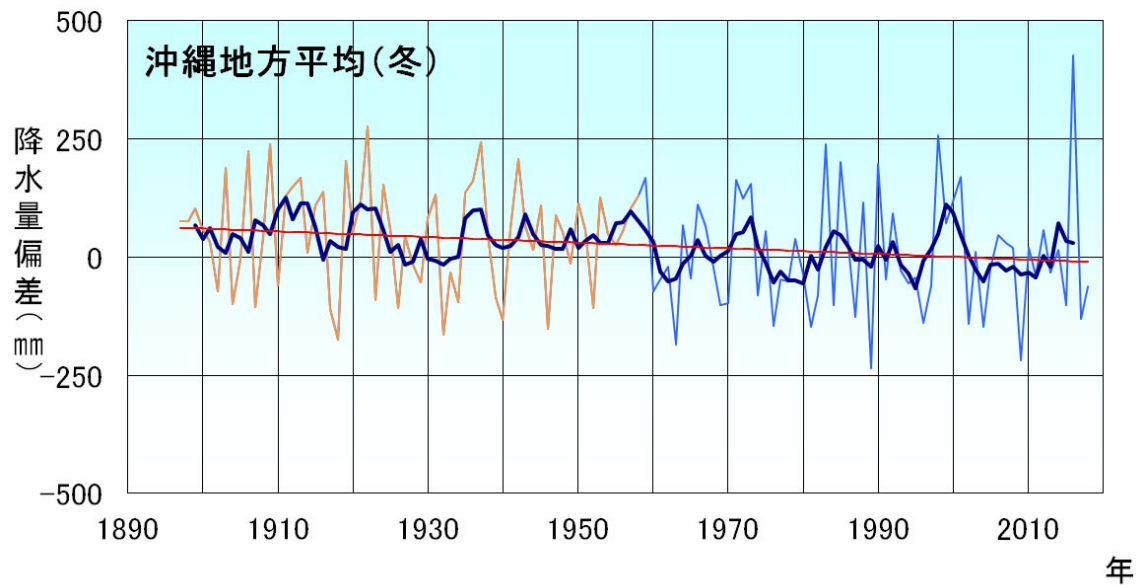


図 2 沖縄地方の冬（12 月～2 月）の降水量の地域平均平年差の経年変化  
[1897 年～2018 年の 122 年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差 [mm] を示す。  
水色の折れ線グラフは 5 地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは 5 地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の 5 年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。

**【注】**

この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の 5 地点より算出している。また、上記 5 地点のうち 2 地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は 1897 年からとなる。沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は、長期的なトレンドの評価のため、小数第 2 位まで求めている。